

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

Application no/date: 1985-107050[1985/07/12]
Date of request for examination: []
Public disclosure no/date: 1987- 14965[1987/01/29]
Examined publication no/date (old law): []
Registration no/date: []
Examined publication date (present law): []
PCT application no
PCT publication no/date
Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP
Inventor: MATSUDA MITSUKI
IPC: H02K 11/00 H02K 5/00
FI: H02K 11/00 Z H02K 5/00 A
F-term: 5H611AA03,BB00,PP03,PP07,QQ00,SS00,UA04,UB01,5H605AA03,AA12,CC01,
CC02,CC04,CC10,EA14
Expanded classification: 431
Fixed keyword:
Citation:
Title of invention: Isolation clamping device
Abstract:

SUMMARY:Isolation tube inserts bearing department for use in prevention of shaft current isolation of revolution electrical machinery and flame in isolation washer about breaking isolation clamping device, and bezel is established, because isolation tube is inserted, approaches such as powder jin to an interval of isolation tube and bracket, abrasion powder are prevented, and a short-circuit of flame by those accumulation and bracket can be prevented.
(Machine Translation)

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-14965

⑤ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 昭和62年(1987)1月29日

H 02 K 11/00
5/00D-7826-5H
A-7052-5H

審査請求 未請求 (全1頁)

④ 考案の名称 絶縁締付装置

⑦ 実 願 昭60-107050

⑧ 出 願 昭60(1985)7月12日

⑦ 考 案 者 松 田 充 記 長崎市丸尾町6番14号 三菱電機株式会社長崎製作所内
 ⑦ 出 願 人 三 菱 電 機 株 式 有 限 公 司 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
 ⑦ 代 理 人 弁 理 士 大 岩 増 雄 外2名

⑥ 実用新案登録請求の範囲

フレームに取付けられるブラケット部を絶縁するための締付ボルト、絶縁座金、絶縁チューブ及び絶縁板などにより構成された絶縁締付装置において上記絶縁座金に上記絶縁チューブ差込用の溝を設けたことを特徴とする絶縁締付装置。

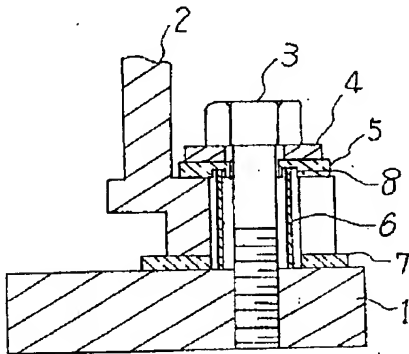
図面の簡単な説明

第1図は、この考案の一実施例による絶縁締付

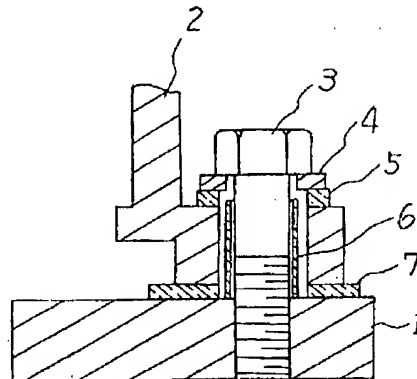
装置を示す断面図、第2図は従来の絶縁締付装置を示す断面図である。

図において、1はフレーム、2はブラケット、3は締付ボルト、5は絶縁座金、6は絶縁チューブ、7は絶縁板、8は溝である。なお、図中、同一符号は同一または相当部分を示す。

第1図



第2図



公開実用 昭和62-14965

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭62-14965

⑬ Int.Cl.⁴

H 02 K 11/00
5/00

識別記号

庁内整理番号

D-7826-5H
A-7052-5H

⑭ 公開 昭和62年(1987)1月29日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 絶縁締付装置

⑯ 実 願 昭60-107050

⑰ 出 願 昭60(1985)7月12日

⑱ 考 案 者 松 田 充 記 長崎市丸尾町6番14号 三菱電機株式会社長崎製作所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 考案の名称

絶縁締付装置

2. 実用新案登録請求の範囲

フレームに取付けられるブラケット部を絶縁するため締付ボルト、絶縁座金、絶縁チューブ及び絶縁板などにより構成された絶縁締付装置において上記絶縁座金に上記絶縁チューブ差込用の溝を設けたことを特徴とする絶縁締付装置。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この考案は、回転電機の軸電流防止絶縁のための軸受部とフレームとを絶縁する絶縁締付装置に関するものである。

〔従来の技術〕

従来この種の絶縁ボルトとして第2図に示すものがあつた。図において、(1)はフレーム、(2)はこのフレーム(1)に締付ボルト(3)座金(4)、絶縁座金(5)、絶縁チューブ(6)と共に絶縁板(7)を介して取付け固定されたブラケットである。



(1)

実開62 1 1005

次に作用について説明する。フレーム(1)とブラケット(2)は、絶縁板(7)により電氣的に絶縁され、さらに締付ボルト(3)、座金(4)は絶縁座金(5)によりブラケット(2)と絶縁され、また締付ボルト(3)は絶縁チューブ(6)によりブラケット(2)と絶縁されている。

〔考案が解決しようとする問題点〕

従来 of 絶縁締付装置は以上のように構成されているので、締付ボルト(3)の締込時の粉じん、及び締付ボルト(3)と座金(4)の摩擦による摩耗粉がフレーム(1)の底部から絶縁チューブ(6)とブラケット(2)の間へ蓄積しフレーム(1)とブラケット(2)を短絡する問題点があった。

この考案は上記のような問題点を解消するためになされたもので、絶縁チューブとブラケットの間への粉じん、摩耗粉等の進入を防ぎ、それらの蓄積によるフレームとブラケットの短絡を防止することができる絶縁締付装置を得ることを目的としている。

〔問題点を解決するための手段〕

この考案に係る絶縁締付装置は、絶縁座金に絶縁チューブ差し込み溝を設けたものである。

〔作用〕

この考案における絶縁締付装置は、絶縁座金の絶縁チューブ差し込み溝に絶縁チューブが差し込まれることにより絶縁チューブとブラケットの間へ粉じん、摩耗粉等の進入を防ぎ、それらの蓄積によるフレームとブラケットの短絡を防止する。

〔考案の実施例〕

以下、この考案の一実施例を図について説明する。第1図において、ブラケット(2)は締付ボルト(3)により絶縁板(7)を介して、座金(4)、絶縁座金(5)、絶縁チューブ(6)と共にフレーム(1)に取付固定されている。このとき絶縁チューブ(6)は絶縁座金(5)に設けられた絶縁チューブ差し込み溝(8)に差し込まれている。(8)は絶縁座金(5)に設けられた溝であって、絶縁チューブ(6)の厚み以上の幅を有し、絶縁チューブの径に同じ円弧



(3)

状のものである。

なお、その他の構成については従来と同様につき説明を省略する。

次に作用について説明する。フレーム(1)とブラケット(2)は、絶縁板(7)により電氣的に絶縁されている。締付ボルト(3)は、ネジ部によりフレーム(1)と機械的にも電氣的にもつながっているがブラケット(2)とは絶縁座金(5)、絶縁チューブ(6)により絶縁されている。絶縁チューブ(6)は、絶縁座金(5)に設けられた絶縁チューブ差し込み溝(8)に差し込まれ絶縁チューブ(6)とブラケット(2)の間への異物進入を防止する。

〔考案の効果〕

以上のように、この考案によれば絶縁座金に絶縁チューブ差し込み溝を設け、絶縁チューブを差し込むこととしたので絶縁チューブとブラケットの間への粉じん、摩耗粉等の進入を防ぎそれらの蓄積によるフレームとブラケットの短絡を防止できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この考案の一実施例による絶縁締付装置を示す断面図、第2図は従来の絶縁締付装置を示す断面図である。

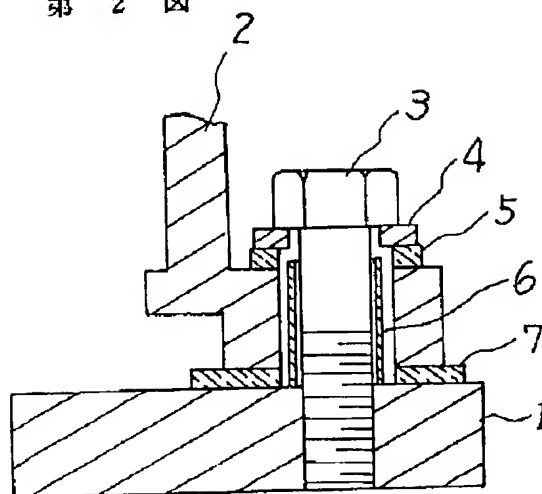
図において、(1)はフレーム、(2)はブラケット、(3)は締付ボルト、(5)は絶縁座金、(6)は絶縁チューブ、(7)は絶縁板、(8)は溝である。

なお、図中、同一符号は同一または相当部分を示す。

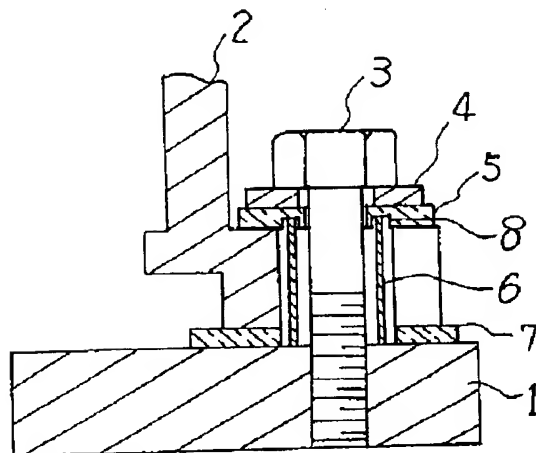
代理人 大 岩 増 雄



第 2 図



第 1 図



- 1: フレーム
- 2: ブラケット
- 3: 締付ボルト
- 5: 絶縁座金
- 6: 絶縁チューブ
- 7: 絶縁板
- 8: 溝

697

代理人 大 岩 増 雄

実用 昭和62-14965